

特別企画 新型コロナで変わるモノづくり

金型メーカーでも実践できる！ テレワーク導入のポイント

枚岡合金工具(株) 古芝 弘行*

当社は、1949年に現社長の父である故・古芝芳一氏が東大阪府枚岡の地で創業した、資本金1,000万円、社員25人のいわゆる中小企業の町工場である(図1)。「冷間鍛造部品用金型」を得意としている金型事業部と、2000年から始まった「文書管理・図面管理システム」を取り扱っているIT事業部、そして「3S活動」の普及を行う教育事業部の3事業部がある。一見まったく異なるように思える3つの事業は、当社が「3S」に徹底して取り組み、「整理」「整頓」「清掃」という3S活動を行ったことと密接に関係している。

テレワークに取り組んだきっかけ

当社がテレワークに取り組むまでには、以下に挙げる大きな3つの転機があった。

- ① 金型の設計・デザイン業務を担当していた女性

*Hiroyuki Furushiba：管理部 シニアアドバイザー
〒544-0013 大阪市生野区巽中2-7-22
TEL(06)6758-2001



図1 当社大阪工場の様子

社員が「ゆっくりした暮らし」を求め、2019年10月より、自然豊かな四国・愛媛県の自宅で「デジタル田舎暮らし」を始めることになった。

- ② 勤続60年で80歳の金型営業・発注業務担当のシニア社員は、往復3時間の通勤が苦痛になってきたため、2020年4月より、思い切って奈良県の自宅で勤務することになった。
- ③ 新型コロナウイルス対策で、金型工場内の事務所に勤務していたIT事業部の6名全員が2020年4月よりテレワークにシフトした。

テレワークに不可欠なシステムと その活用方法

テレワークでは、社員同士の距離が離れて連絡がとりづらくなるため、「コミュニケーションソフト」が不可欠である。種々のソフトがあるが、離れた相手と連絡をとるうえでは、どのソフトでも大きな支障はないと考えられる。当社では、「Microsoft Teams」(以下、Teams)を利用している。

Teamsは以下に挙げる3つの理由で採用した。

1. Microsoft社のOffice製品を必須で業務に使う
会社内の資料は、Excel、Word、PowerPointで作成することが基本である。これらはTeams内で閲覧、編集が可能で共有も簡単にでき、操作性も良い。
2. セキュリティに信頼がもてる
制作・販売元がMicrosoftであり、仮にトラブルが起きた場合の対策も迅速であり信頼できる。
3. 使用状況の確認ができる

Teamsは、組織内の管理者がアカウントを作成、